

## 令和4年度 総務常任委員会意見交換会報告書

開催日時	令和4年10月4日（火）午前10時～午後0時10分
開催場所	富士見市役所 全員協議会室
テーマ	富士見市の防災について「地域での活動について現状と課題」
出席議員	深瀬優子委員長 村元 寛副委員長 根岸 操委員 宮尾 玲委員 斉藤隆浩委員 関野兼太郎委員 山下淑子委員
参加人数	参加者10人（水谷東小学校区、勝瀬小学区、つるせ台小学区の防災連絡会の皆さん）
実施内容	全体の進行：根岸操委員 1 開会 2 議長あいさつ（斉藤隆浩議長） 3 委員長主旨説明（深瀬優子委員長） 4 委員自己紹介・参加者自己紹介 5 意見交換（進行：村元寛副委員長） 6 水谷東小学校区防災連絡会代表幹事清水様より まとめのあいさつ 7 委員長あいさつ（深瀬優子委員長） 8 閉会  議会事務局 伊藤主任 大熊専門員

議長挨拶、委員長の主旨説明の後、意見交換会を行う。

## 1 意見交換で出された意見の概要

### ①活動の内容

<つるせ台小学校区防災連絡会>

- ・高台地区のため災害はほとんどない。現状は誰一人取り残さないよう避難訓練を重点的に行っている。

<勝瀬小学校区防災連絡会>

- ・勝瀬町会はふじみ野小学校区もあり、3, 800世帯あっても町会加入世帯は470世帯で、ほぼ勝瀬小学校区の住民。そのため勝瀬町会にはなかなか自主防災会が組織されていないが、勝瀬小学校区として防災訓練や、防災連絡会に参加している。
- ・年数回地下式消火栓スタンドパイプの接続訓練をしている。一番心配なのは火災であり、普段から消火栓の位置を確認している。(ふじみ野市みほの町会)

<水谷東小学校区防災連絡会>

- ・志木市柏町住民との合同防災訓練や避難行動要支援者への支援訓練を年一回行っている。これまで宿泊体験訓練、水害対応の図上訓練、コロナ禍における避難所設営及び運営訓練を行ってきた。
- ・市から貸与されている排水ポンプの活用に向けた訓練をしている。

### ②活動の課題

- ・市内各小学校区に防災連絡会を作る方針であると聞いていたが、現状は立ち消えになっている。
- ・普段からの避難行動要支援者の把握に苦心している。守秘義務の壁があり、避難行動要支援者のリストが重荷になっている。また、民生児童委員への負担がある。
- ・高齢者への防災対策について市として具体策がないのではないか。
- ・市境での防災活動に課題がある。
- ・避難所の収容能力や防災備蓄品の量に不安がある。コロナ禍での避難所のあり方に課題がある。
- ・町会長の高齢化や町会加入率の低さが課題としてある。
- ・若い住民のなかには防災意識が低い人もあり、町会の世話になることはないという人もいる。
- ・2019年10月の台風19号で一泊の避難所生活を強いられたが、連泊を必要とする災害は今のところ起こっていない。今後の課題である。

- ・防災リーダーの増員と育成、併せて市民の防災意識の高揚と啓蒙を図っていかなくてはならない。

### ③参加者の意見や要望

- ・地域によってそれぞれ災害への対応が違ってくる。繰り返しの訓練をしていくことが大切。
- ・実際に災害を経験しないと災害を我が事として捉えにくい。防災には限りがない。災害への備えは何もなければ無駄のように思えるが必要なことである。
- ・災害時の避難通路の確保のために基幹道路の確保、整備をするべき。
- ・マニュアルもあるが柔軟な対応をすべき。
- ・体育館の運動用マットは就寝に使うと体が冷えてしまうようだ。就寝に耐えられるマットを装備しておくべきでは。
- ・小学校区ごとに代表者を集めて防災会を作るように要請すべき。
- ・様々な防災に関する情報共有システムの確立を。
- ・防災行動へのマニュアルは簡単明瞭に作成すべきである。
- ・災害時での避難行動要支援者の情報公開の制度化を。

## 2 まとめ

参加者の声にもあったが、各地域の様々な防災への取組について話を聞くことができ有意義な意見交換会であった。それは委員会としてばかりでなく、参加者にとっても他の地域の防災への取組を聞くことができ、これからの活動への参考になったのではないかな。

水谷東小学校区防災連絡会の代表幹事の清水氏は、まとめのあいさつで、「地域住民が力を合わせて防災に取り組むべきである。住民の自主的活動を行政が支援していくべきである。防災活動は継続していくことが大切である。防災活動は、地域住民の楽しい行事等でのコミュニケーションの醸成を図り、普段から顔の見える関係を創っていくことが大切である。」と、4点にわたって長年取り組んできた防災活動についての基本原則ともいえる話をされ、共感を持つことができた。

各地域で防災活動に取り組んでいらっしゃる方々との意見交換で、改めて自助共助の大切さとともに、それを支援すべき公助を担う行政の防災への継続的な取組の必要性を再認識させられた。

※この記録は、意見交換会での発言をまとめたものです。

発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。